

プロジェクトのコア技術としての次世代栽培システム

A 造り手又は売り手

現在の〇〇野菜は機能性と味が高く、消費者の評判もよい。この商品力と生産効率をさらに高めたいが、自社での取り組みでは効率が悪い。いずれ新規参入者に追いつかれる。

生産性の高い
農芸品生産システムの
設計依頼

B 設計事務所

最高水準の効率性、省エネ性を持つ生産システムを設計したいが、環境制御については、より高い知見と技術が必要

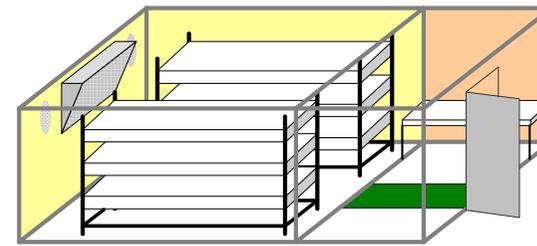
種苗選抜依頼、栽培レシピの作成依頼

競争力のある商品の選別と栽培方法の作成

生産システムの設計
環境制御方法についての最適化依頼

機能性作物の次世代栽培システム

1. 栽培レシピ・種苗デザインセンター（仮称）



①種苗の選抜
同じ環境条件下で、1度に数100種の種苗を栽培し、優れた機能性等を持つ種苗を選抜。

②栽培レシピの作成
環境条件を変えて栽培し、最適な栽培方法を作成

2. 高度計測技術開発センター（仮称）

病害虫により影響を受けた植物が出す微量ガスを光技術により検知し、早期に抜除する技術を開発

3. 生産システム技術開発センター（仮称）

環境制御技術や作業ロボットなど
生産システム高度化のための技術開発

協力要請

人材派遣、技術の提供

C 協力企業・研究機関群